

# 山本とも子



Vol.26



## 3/11 (水) 民生保健委員会にて質疑

私は今年度、民生保健委員会に所属し、今回市長に対し『身寄りのない高齢者への支援について』意見要望をさせていただきました。

### ●なぜ今、身寄りのない高齢者支援が重要なのか●

大阪府は単身高齢者の割合が全国でも突出しており、支援は待ったなしの課題です。私は平成29年から繰り返し取り上げてきましたが、市は「国の動向を注視」として具体的な前進が見られませんでした。

### ●大阪市でも同じような仕組みは導入できるのか●

市は現状、包括支援センターや成年後見支援センターで相談対応を行っていますが、登録制度は未導入です。私は、**法改正を待つだけでなく、ニーズ調査や関係機関連携など、今できる準備を進めるべき**と提案しました。

### ●国ではどのような動きがあるのか●

国の審議会では、**日常生活支援・入院手続き支援・死後事務支援を新たな社会福祉事業として位置付ける方針**が示され、法改正が進められています。支援対象も幅広く設定される見込みです。

### ●市長はどのように考えているか●

市長は、**死後事務や医療・介護の意思決定支援が重要**と述べ、国の法改正を完全に待って施行時期を待つことなく、制度の枠組みが示され次第、速やかに対応すると答弁しました。

### ●他都市ではどんな取り組みが進んでいるか●

横浜市では、緊急連絡先やかかりつけ医などを事前登録できる**「ヨコハマあんしん登録」**を開始し、万一の際に備える仕組みを整えています。終活相談センターも併設され、支援が具体化しています。

### ●今回の質疑で特に伝えたかったことは●

大阪市は子育て施策では国に先んじて取り組んできました。同じように、**身寄りのない高齢者が最後まで安心して暮らせる支援体制も、主体的に整備すべき**と強く求めました。

## 実績

### ●歯周病検診の無償化●

#### 来年度より歯周病検診の無償化決定! (20歳から70歳まで5歳刻み)

若者は紙の通知だけでは動かず、受診しづらい理由も多い。

夜間・土日対応歯科のリスト化やInstagram・X・YouTubeでの市公式広告など若年層向け施策が必要。「生涯を通じた口腔健康モデル都市・大阪」を目指すべきで、無償化を若い世代の受診習慣づくりにつなげるため、実効性ある受診率向上策の検討を要望しました。



### ●ヌートリア・アライグマ対策●

アライグマは法律で「特定外来生物」に指定。都市部でもアライグマの目撃が増えており、捕獲や焼却にも課題がある。

アライグマだけでなく、最近、市民からの相談が多いのがヌートリア。大川・大和川などで目撃が増加。大和川では、2019年の初確認からわずか5年で奈良側の源流域まで拡大。

一部では「えさやり」をする人もおり、環境省も注意喚起している。市としても、関係機関と連携し、啓発看板などで市民への注意喚起を強化すべきと要望。



### ●HPVワクチンの進捗●

接種率は、2021年以前の「1%未満」という状況から、今は大きく回復してきています。先進国並みの水準に近づけるよう、今後の取組みに期待。あわせて、子宮頸がん検診率の向上にも、引き続き取り組みを要望。

残された課題は、男性へのHPVワクチン接種。東京都ではすでに自治体補助を始めている。男女ともに定期接種化する流れは、国際的にはすでに主流で、日本でも制度化は時間の問題です。

自治体として、対象となる人口の把握、医療機関の受け入れ体制、学校現場の準備、そして財政的な影響の試算など、先を見据えた準備を今から進めておくことが不可欠だと考えます。制度化を見据えて先に動くことこそが、住民の健康を守る自治体の責務であり、前向きな検討を要望。



## ほほえみグループ主催 チャリティーバザー



「ほほえみグループ(公明党北支部女性党员)」が、初のチャリティーバザーを開催しました。

“あなたの『もう使わない』を『誰かの宝物に』”を合言葉に、地域の皆さまから提供いただいた品物を販売し、売上はすべて「TSURUMIこどもホスピス」へ寄付されました。

TSURUMIこどもホスピスは、病と向き合う子どもたちやきょうだい児、家族が安心して過ごせる場を提供する大切な拠点です。国でも令和6年度補正予算で「こどもホスピス支援モデル事業」が始まり、地域全体で支える体制づくりが進んでいます。

子どもたちの笑顔のために、地域とともに取り組みを進めてまいります。

## 茶屋町で発生した下水道工事 中の鋼管隆起事故について

2026年3月11日早朝、大阪市北区茶屋町の下水道工事現場で、直径3.6m・長さ27mの鋼製ケーシング管が地中から大きく隆起し、路面を突き破る事故が発生しました。地下水の浮力が鋼管の重さを上回った可能性が指摘されており、現在も詳細な原因分析が進められています。

この工事は、既設の下水管と新たに深く設置する下水管をつなぐためのもので、事故は最終工程(マンホール蓋の設置直前)に起きました。人的被害は最小限にとどまりましたが、都心部での重大なインフラ事故であり、市民の皆さまに大きな不安を与える事態となりました。

### 公明党大阪市議団の対応

公明党市議団は、市民の安全を最優先に、次の点を強く求めています。

- 事故原因の徹底した検証(客観的・専門的な視点で)
- 地下水管理や施工方法の見直しなど、再発防止策の抜本強化
- 市民への丁寧で分かりやすい情報公開

今回の事故を教訓に、「二度と起こさない」ための体制づくりを着実に進めるよう、市に対して強く働きかけています。



## 扇町公園、野崎公園 リニューアル!

6月完成予定。お楽しみに!

### 扇町公園

ローラー滑り台やチューブ滑り台、ワイド滑り台などの多様な遊具を設置し、これまで以上に様々な遊びを楽しむことができる施設へリニューアル!

改修イメージ



### 野崎公園

健康器具(ぶらさがり、踏み板ストレッチ)の設置、幼児用遊具(複合遊具)、日よけ付き休憩スペースなどが新たに設置される予定です。

## 淀川ゲートウェイ完成

淀川と大川の分岐点にある「淀川大堰」に、船の通用口となる「閘門」(愛称・淀川ゲートウェイ)が完成しました。

船が入ると上流側と下流側のゲートを閉じ、水位を調整し、河川のエレベーターとして機能します。この完成を機に、災害時の活用、公共工事における陸上輸送の代替手段としての船運活用、淀川ゲートウェイを活用した民間企業による観光の商品化など、淀川船運を本格化させます。



お気軽に  
ご相談  
ください

山本とも子市政事務所

〒530-0041 大阪市北区天神橋4-8-8 第2平川ビル5FA  
TEL.06-4800-6001 FAX.06-4800-6002

